

社団法人日本気象学会

2007 年度事業報告

1. 会員数の動向(2008年3月31日現在)

() 内は前年比

会員数合計	4,019(-69)
通常会員	1,112(+15)
一般	A	680(+48)
	B	251(-1)
学生	A	97(-25)
	B	15(-7)
高年	A	62(+2)
	B	7(-2)
特別会員	2,552(-50)
一般	A	1,858(-24)
	B	411(-44)
	C	25(-2)
	D	1(+1)
学生	A	170(+17)
	B	17(-10)
高年	A	63(+9)
	B	7(+3)
団体会員	311(-33)
団体	A	101(±0)
	B	115(-15)
	C	95(-18)
賛助会員	33(-1)
名誉会員	11(±0)

2. 機関誌等の刊行

- (1) 天気 54 巻 4 号～55 巻 3 号 12 冊 (1,048 頁、昨年度より 73 頁増) 各号 4,200 部印刷、電子ジャーナル版公開、54 巻 1 号～12 号に「創立 125 周年記念解説」48 編、196 ページを掲載
バックナンバーの PDF 化と Web による公開。
- (2) 気象集誌 85 巻 2 号～86 巻 1 号、特別号 85 巻 B(創立 125 周年記念発刊)、7 冊(1,391 頁、内特別号 403 頁、昨年度より 486 頁減) 各号 1,250 部印刷、電子ジャーナル版公開
創刊号からの PDF 化と Web による公開 (JST によるアーカイブ事業)
- (3) 英文レター誌 SOLA 第 3～4 巻
第 3 巻 24 編 96 ページ
第 4 巻 31 編 124 ページ
- (4) 気象研究ノート
ア 213 号(創立 125 周年特別号第 1 部) 「次世代

に伝えたいこと—あの人からの助言—」(2007 年 5 月) 160 頁、1,500 部

イ 214 号「オホーツク海の気象—大気と海洋の双方向作用—」(2007 年 8 月) 178 頁、1,400 部

ウ 215 号(創立 125 周年特別号第 2 部)「次世代への架け橋—今プロジェクトリーダーが語る—」(2007 年 10 月) 171 頁、1,400 部

エ 216 号「2005/06 年 日本の寒冬・豪雪」(2007 年 11 月) 282 頁、1,400 部

オ 217 号「気象学におけるデータ同化」(2008 年 2 月) 260 頁、1,400 部

(5) 大会予稿集

ア 春季大会 (91 号) 417 頁 1,500 部印刷

イ 秋季大会 (92 号) 538 頁 1,500 部印刷

3. 会議等の開催

- (1) 総会 2007 年 5 月 14 日、国立オリンピック記念青少年総合センター

(出席者 99 名、総会参加票 596 名、計 695 名)

ア 2006 年度事業報告・決算報告、2007 年度事業計画・予算が承認された。

イ 理事の欠員に伴う補充及び理事の辞任に伴う後任候補の提案があり、提案のとおり承認された。

(2) 理事会

第 34 期 (第 7 回) 2007 年 5 月 13 日、東京

第 34 期 (第 8 回) 2007 年 10 月 14 日、札幌

第 34 期 (第 9 回) 2008 年 2 月 29 日、東京

(3) 常任理事会

第 34 期 (第 9 回) 2007 年 4 月 11 日、東京

第 34 期 (第 10 回) 2007 年 5 月 13 日、東京

第 34 期 (第 11 回) 2007 年 6 月 18 日、東京

第 34 期 (第 12 回) 2007 年 7 月 25 日、東京

第 34 期 (第 13 回) 2007 年 9 月 10 日、東京

第 34 期 (第 14 回) 2007 年 10 月 14 日、札幌

第 34 期 (第 15 回) 2007 年 11 月 7 日、東京

第 34 期 (第 16 回) 2007 年 12 月 13 日、東京

第 34 期 (第 17 回) 2008 年 1 月 11 日、東京

第 34 期 (第 18 回) 2008 年 2 月 18 日、東京

第 34 期 (第 19 回) 2008 年 2 月 29 日、東京

(4) 評議員会

第 34 期 (第 2 回) 2008 年 2 月 29 日

会場：東京大学山上会館

4. 大会及び研究会等

- (1) 春季大会 2007 年 5 月 13-16 日

会場：国立オリンピック記念青少年総合センター

(担当：東京大学気候システム研究センター)

シンポジウム：次世代の大気科学に期待すること

—創立125周年記念国際シンポジウム—

(2) 秋季大会 2007年10月14-16日

会場：北海道大学学術交流会館(担当：北海道支部)

シンポジウム：雪氷圏から語る気象と気候

(3) 研究連絡会

ア メソ気象研究連絡会

東京 2007年5月12日

札幌 2007年10月13日

イ オゾン研究連絡会

東京 2007年5月15日

札幌 2007年10月14日

ウ 極域・寒冷域研究連絡会

東京 2007年5月13日

札幌 2007年10月14日

エ 非静力学モデル研究連絡会

京都 2007年9月13-14日

オ 天気予報研究連絡会

東京 2008年2月1日

カ 航空気象研究連絡会

東京 2008年2月29日

キ 統合的陸域圏研究連絡会

東京 2007年5月13日

札幌 2007年10月14日

ク 惑星大気研究連絡会

東京 2007年5月12日

札幌 2007年10月14日

ケ 地球観測衛星研究連絡会

札幌 2007年10月14日

コ 気象教育研究連絡会

東京 2007年5月13日

(4) 月例会

ア 長期予報と大気大循環

東京 2007年11月26日

(5) 第18回夏の学校

札幌 2007年8月6-8日

(6) 他学会との共催等

ア 第44回アイソトープ・放射線研究発表会

2007年7月4-6日

イ 第24回エアロゾル科学・技術検討会

2007年8月8日

ウ 第53回風に関するシンポジウム

2007年6月21日

第54回風に関するシンポジウム

2008年2月23日

エ CAWSESに関する国際シンポジウム

2007年10月23-27日

オ 第45回飛行機シンポジウム

2007年10月10-12日

5. 研究業績の表彰

(1) 日本気象学会賞

杉 正人 気象庁気象研究所

佐藤 正樹 海洋研究開発機構地球環境フロンティア研究センター・東京大学気候システム研究センター

富田 浩文 海洋研究開発機構地球環境フロンティア研究センター

(2) 藤原賞

石 廣玉 中国科学院大気物理研究所

木田 秀次 京都大学名誉教授

(3) 山本・正野論文賞

岩渕 弘信 海洋研究開発機構地球環境フロンティア研究センター

(4) 堀内賞

阿部 彩子 東京大学気候システム研究センター

田近 英一 東京大学大学院理学研究科

(5) 奨励賞

なし

6. 支部活動

(1) 北海道支部

研究発表会 (札幌) 2007年6月15日

(札幌) 2007年12月18-19日

(2) 東北支部

気象研究会 (仙台) 2007年11月22日

(3) 中部支部

支部研究会 (常滑市) 2007年11月19-20日

(4) 関西支部

ア 総会・年会 (大阪) 2007年6月23日

イ 例会 (岡山) 2007年11月10日

(高知) 2007年11月30日

(神戸) 2008年2月22日

(5) 九州支部

支部発表会 (福岡) 2008年3月8日

(6) 沖縄支部

支部研究会 (那覇) 2007年11月29-30日

7. 普及活動

(1) 公開講演会 (東京) 2007年5月13日

—大雨の特徴と最近の傾向—

—竜巻の謎を探る—

—台風-巨大な渦巻き—

(2) 第41回夏季大学 2007年8月4-5日

気象庁講堂

「新しい気象学」—気象のシミュレーション(2)—

(3) サイエンスカフェ

第10回~第11回 (東京)

(4) 北海道支部

第25回気象講座 (札幌)

2007年7月31-8月1日

(5) 東北支部

- ア 創立 50 周年記念特別講演会 (仙台)
2007 年 6 月 15 日
ー東北の気候変動と長期予報 (季節予報) の
歴史ー
- イ 気象講演会 (青森) 2007 年 11 月 9 日
ー予報官が、そして衛星が捉える青森の空ー

(6) 中部支部

公開気象講座 (名古屋) 2007 年 8 月 26 日

(7) 関西支部

- ア 第 29 回夏季大学 (京都)
2007 年 8 月 7-8 日
ー地球温暖化の現状と将来ー
- イ サイエンスカフェ (第 1 回、神戸)

(8) 九州支部

気象教室 (福岡) 2007 年 8 月 18 日
ー渦の科学ー

(9) 沖縄支部

- ア 親と子の気象教室 (沖縄市) 2007 年 8 月 10 日
- イ 防災気象講演会 (那覇) 2008 年 1 月 15 日

8. 国際学術交流活動

- (1) 第 3 回中韓日気象学会共催シンポジウム
北京市 2007 年 11 月 14-16 日
- (2) 125 周年記念国際シンポジウム
東京 2007 年 5 月 15 日
ー次世代の大気科学に期待することー
- (3) 国際学術研究集会参加補助
なし

9. 電子情報関連

- (1) 学会ホームページ管理運営
- (2) メーリングリストの管理運営
- (3) 日本気象学会刊行物収録 DVD 刊行

10. 気象研究コンソーシアム

本運用開始 2007 年 11 月 7 日
参加研究課題数 13 件 (2008 年 3 月現在)

11. その他

- (1) 日本地球惑星科学連合への参加
- (2) 地球環境科学関連学会協議会参加